※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「歴史総合 近代から現代へ」　（山川出版社）						
副教材等	「新詳　歴史総合」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去と現在との対話から未来が創造されることを認識する。
・様々な歴史的事象について様々な立場から考え、「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とし、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

（１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる資質・能力を身に付ける。
（２）歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、構想したことを説明・議論したりする力を身に付ける。
（３）我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	①歴史と私たち　日本と洋菓子	a: 身近な砂糖を題材に、私たちの生活が、世界の歴史とつながっていることを理解している。 b:砂糖を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化などの歴史の変化と関わらせて、世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 c:身近な題材に対してみずから「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	提出物	提出物	提出物
		②歴史の特質と資料 台湾における砂糖の生産	a:台湾における砂糖の生産を題材に、資料の種類・特性や作成の時期・主体・目的などをふまえた批判的な読みとりと吟味が重要であることを理解している。 b:資料や図版などから適切に情報を読みとり、時期や立場による書かれ方の違いなどを判断している。 c:資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。	提出物	提出物	提出物
	第Ⅰ部　近代化と私たち	近代化への問い 1交通と貿易／2産業と人口／3権利意識と政治参加や国民の義務／4学校教育／5労働と家族／6移民	a: 近代化と私たちに関わる諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりしている。 b: 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 c: 近代化と私たちに関わる諸資料を主体的に読み取り、近代化への問いを表現しようとしている。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第1章　結びつく世界	1.アジア諸地域の繁栄と日本 2.ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	a:18 世紀までのアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 b:18 世紀までのアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀までのアジア諸国における経済活動の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:18 世紀までのアジアの経済・社会に関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第2章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	1.ヨーロッパ経済の動向と産業革命 2.アメリカ独立革命とフランス革命 3.19 世紀前半のヨーロッパ 4.19 世紀後半のヨーロッパ 5.19 世紀のアメリカ大陸 6.西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 7.中国の開港と日本の開国	a:　産業革命と交通・通信手段の革新、市民革命、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 b:　産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:工業化と世界市場の形成に関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

2学期	第3章　明治維新と日本の立憲体制	1.明治維新と諸改革 2.明治初期の対外関係 3.自由民権運動と立憲体制	a:日本の立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 b: 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国民国家と立憲体制に関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第4章　帝国主義の展開とアジア	1.条約改正と日清戦争 2.日本の産業革命と教育の普及 3.帝国主義と列強の展開 4.世界分割と列強の対立 5.日露戦争とその影響	a:列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 b: 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	近代化と現代的な諸課題	近代化と現代的な諸課題 自由･制限／開発･保全	a:自由・制限/開発・保全の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 b: 自由・制限/開発・保全の観点から、国家間の関係の変化などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 c:自由・制限/開発・保全について、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い 1国際関係の緊密化／2アメリカ合衆国とソ連の台頭／3植民地の独立／4大衆の政治的･経済的･社会的地位の変化／5生活様式の変化	a:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	提出物	提出物	提出物
	第5章　第一次世界大戦と大衆社会	1.第一次世界大戦とロシア革命 2.国際平和と安全保障 3.アジア･アフリカ地域の民族運動 4.大衆消費社会と市民生活の変容 5.社会･労働運動の進展と大衆の政治参加	a:第一次世界大戦の特質･展開･惨禍、大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解するとともに、諸資料を活用している。 b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦や社会主義革命が大戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係の変化や軍縮条約・不戦条約など国際協調体制の特徴などを、多面的･多角的に考察し、表現している。 c: 国際連盟などの国際組織、国際的な軍縮条約や不戦条約などの国際法の意義を理解し第一次世界大戦と国際社会に関して、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第6章　経済危機と第二次世界大戦	1.世界恐慌の発生と各国の対応 2.ファシズムの台頭 3.日本の恐慌と満洲事変 4.日中戦争と国内外の動き 5.第二次世界大戦と太平洋戦争	a:国際協調体制の動揺と崩壊、第二次世界大戦の展開を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 b: 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、そこで見られる現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第7章　戦後の国際秩序と日本の改革	1.新たな国際秩序と冷戦の始まり 2.アジア諸地域の独立 3.占領下の日本と民主化 4.占領政策の転換と日本の独立	a:第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 b:第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:核兵器使用を含む戦争の惨禍がもたらした影響と平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して、過去の日本とアジア諸国との関係を認識し、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 対立・協調／平等・格差／統合・分化	a:現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し、説明している。 b:国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化と私たちにおける自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	提出物	提出物	提出物
	第三部　グローバル化と私たち	「グローバル化への問い」 １冷戦と国際関係／2人と資本の移動／3高度情報通信／４食料と人口／5資源・エネルギーと地球環境／6感染症／7多様な人々の共存	a:グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している c:グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

3学期	第8章　冷戦と世界経済	1.集団防衛体制と核開発 2.米ソ両大国と平和共存 3.西ヨーロッパの経済復興 4.第三世界の連携と試練 5.55 年体制の成立 6.日本の高度経済成長 7.核戦争の恐怖から軍縮へ 8.冷戦構造のゆらぎ 9.世界経済の転換 10.アジア諸地域の経済発展と市場開放	a:冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを考察したり表現したりして、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 b:冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c:冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第9章　グローバル化する世界	1.冷戦の終結と国際情勢 2.ソ連の崩壊と経済のグローバル化 3.開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 4.地域紛争の激化 5.国際社会のなかの日本	a:冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 b:民主化や地域統合の背景と影響、経済の自由化や技術革新の影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:民主化や地域統合の動き、経済の自由化や技術革新、地域紛争の拡散の背景や影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第１０章　現代の課題	1.現代世界の諸課題 2.現代日本の諸課題	a:グローバル化のなかで福祉国家体制のなかから、新たに登場した新自由主義について理解している。 b:地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。 c:人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題にも着目して、どのように対応していけばよいかを追究しようとしている	提出物	提出物	提出物
		現代的な諸課題の形成と展望	a:諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について考察、構想し、表現している。 c:みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度